

地域密着サービス運営推進会議 報告書

令和 6 年 6 月 3 日(月)

施設名：グループホーム稗原

日 時：令和 6 年 5 月 30 日(木)

14:00～14:35

場 所：グループホーム稗原 きんもくせいユニットホール

参加予定者：稗原コミュニティセンター長 高野 正次様

喜楽会会長 三成 淳夫様

出雲市高齢者福祉課 鎌田 友輔様

グループホーム稗原(代表取締役) 守屋 とし子

グループホーム稗原(介護主任) 嘉本 さとみ

グループホーム稗原(管理者・介護支援専門員) 塩野 典子

<議題>

- 1.ご利用者状況
- 2.近況報告
- 3.行事報告
- 4.事故・ヒヤリハット事例報告
- 5.研修・訓練等
- 6.今後の行事・研修等予定
- 7.意見交換

<議題>

1.ご利用者状況(令和 6 年 5 月 28 日時点)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男性	0 名	2 名	1 名	1 名	2 名	6 名
女性	0 名	3 名	1 名	0 名	2 名	6 名
計	0 名	5 名	2 名	1 名	4 名	12 名

平均介護度…3.3

平均年齢 …85.8 歳(77～101 歳)

新たなご入居や退所はありませんでした。

2.近況報告

現在、2 ユニットで 12 名の方がご入居中です。日常生活は大きな変化なくお過ごしですが、ご

利用者様によってはご状態の変化もあり、居室で過ごされる時間が増えた方もいらっしゃいます。現在も日中は1ユニット内にて、一緒に体操やレクリエーションを行いながらお過ごしいただいています。

高温多湿の時期になってきましたので、食事の管理や空調、衣類や寝具の調整に配慮していきます。

3.行事報告

4月 お花見・誕生会

3月の終わりから4月初めにかけてドライブに出かけ、お花見をしました。久々の外出にご利用者様も楽しんでいらっしゃり、窓から見える景色や建物一つひとつを確認したりと車内での会話もとても弾んでいました。桜並木や桜吹雪、春の様々な花を見ることができました。ドライブに出かけられなかった方も、気候の良い日に散歩に出かけました。春の心地よい気候を肌で感じる事が出来、皆様の表情も明るくなられていました。

また、4月には3名の方の合同誕生会を行いました。ケーキを食べられた後は、皆様でカラオケをされ、炭坑節などを披露してくださるご利用者様もいらっしゃいました。

5月 誕生会

5月生まれの2名の方の誕生会を行いました。ささやかでしたがプレゼントをお渡しすると喜んで下さいました。また、他ご利用者様からお祝いの言葉をかけられると、お二人とも丁寧に頭を下げお礼を述べていらっしゃいました。

5月は端午の節句もあり、皆様でこいのぼりや兜の作品作りを行いました。細かく鱗を描かれる方や色の配置に悩まれる方など、お一人おひとりの性格が出ていました。

その他、テーブルボーリングをしたり将棋をしたりと穏やかな日々を過ごされました。

4.事故・ヒヤリハット事例報告

○事故報告

・事例①78 歳 男性 要介護 5

(内容)

居室で休んでいらっしゃるところへお茶をお持ちすると、ベッドサイドのセンサーマット上で仰向けで寝ておられるのを発見する。職員が声をかけると「出ようと思って滑り落ちた」と仰られる。センサー鳴動せず、訪室するまで気づかなかった。

(原因)

センサーマットが鳴動せず、ご本人様の動きに気づくことが遅くなってしまったため。

(対処)

バイタル(血圧・脈拍、体温、酸素飽和濃度)測定。164/86 90 36.2℃ 92%

痛みの確認。痛みなし。外傷なし。その他お変わりなし。

(ご利用者様の状況)

特にお変わりなく、その後もお過ごしになられる。

(再発防止に向けて)

普段よりご自身でベッドより降りられることがあったため、ベッドを低床にした状態でベッドサイドにマットレスを敷きその上にセンサーマットを設置していたため、落差や衝撃も最小限だった。

センサーマットの鳴動を確認すると確認時には鳴動したため、鳴動しなかった原因は不明だが、今後も同対策を継続しながらこまめにご様子を確認していく。

・事例②77 歳 女性 要介護 2

(内容)

早朝にセンサー鳴動。他ご利用者様の対応中だったため少し訪室が遅れる。訪室時ベッドサイドに設置されているポータブルトイレの前で正座の状態で座っていらっしゃる。ご本人様にどうされたのか尋ねると「滑ってまくれた」と仰られる。ポータブルトイレに行こうとされていたようでズボンが膝辺りまで下がっていた。

(原因)

他ご利用者様の対応中だったため、センサー鳴動後すぐに対応できなかったため。

(対処)

介助にてベッドへ座っていただきバイタル(血圧・脈拍、体温、酸素飽和濃度)測定。127/70 75
36.5℃ 97%

立ち上がりの介助時、左臀部の痛みの訴えあり。外傷なし。立位は可能だったためご本人様のペースに合わせてポータブ介助、ベッドへの移乗介助を行い再入眠される。その後、朝食時に起床され完食される。痛みの訴えが継続していたため、普段は杖歩行でいらっしゃるが車椅子対応を行う。

(ご利用者様の状況)

痛みの訴えはあったが見守りや介助にて立ち上がり等は可能だったため、日中は定期的にバイタル(血圧・脈拍、体温、酸素飽和濃度)測定を行いながら車椅子を使用。食事もお変わりなく摂取され過ごされる。

16:30頃より痛みのご様子が強くなられ、座っていらっしゃるときにも左臀部を浮かせるように体を右に傾けながら座られるようになる。主治医へ報告後、救急外来の受診を行う。受診にて左大腿骨頸部の骨折が発覚する。手術はご本人様が望まれず実施せず。痛みのコントロールのため入院され5/21退院となる。退院後は、車椅子を使用した移動となっていました。

(再発防止に向けて)

センサーマットを使用されているご利用者様が複数名いらっしゃるため、複数の方が鳴動した場合対応が困難になることがある。ご利用者様お一人おひとりの状態を再度把握し、対応の優先順位等を職員間で共有し転倒予防に努める。

・事例③86歳 男性 要介護4

(内容)

朝食後、ご本人様が座られている席の横に錠剤が1錠落ちているのを発見する。

(原因)

介助した職員がご本人様の手のひらへ介助し、飲み込まれる前に落下していたのを見逃してしまったため。

(対処)

ご本人様が服用されているものかどうかの確認。お変わりなく過ごされている。

主治医に報告後、服薬はそのまま中止となる。

(ご利用者様の状況)

お変わりなく過ごされる。

(再発防止に向けて)

- ・服薬介助前の複数職員による確認、介助時の見守り、飲み込まれるまでの確認を徹底する。
- ・手のひらは不安定なため、小カップを利用するなど手のひらへの介助は行わない。

○ヒヤリハット

・事例①77歳 男性 要介護2、 92歳 女性 要介護3

(内容)

複数のご利用者様で洗濯物を畳んでくださっていたが、終盤に男性ご利用者様が対面にいらした女性ご利用者様の様子が何か気に入らなかったようで、女性ご利用者様の右手甲を引っ掻こうとされる。職員が近寄り女性ご利用者様の右手を確認するも外傷等なし。

(対策)

洗濯物畳みをお願いしている付近に職員はいたが、別の作業を行っており一緒には行っていなかった。ご利用者様に作業等をお願いするときには、職員も一緒に行くようにする。

・事例②77 歳 男性 要介護 2

(内容)

昼食後居室に帰られたが、職員が他ご利用者様の対応をしようと廊下に向かうと非常口の鍵を開けようとされているのを発見する。

(対策)

施錠がしてあったため開けられなかったが、見守りを強化する。

・事例③86 歳 男性 要介護 4

(内容)

居室で往診があった後センサー鳴動。訪室すると不安定な足取りで頭部側の柵の方まで歩いていらっしゃる。普段枕元に置いてあるコールボタンが頭部側の柵に置いてあり、ご本人様が取りに行こうとされたよう。

(対策)

日常的に車椅子を使用されており膝が伸び切らず歩行がかなり不安定でいらっしゃる方のため、帰室され職員が退室するときには必ずコールボタンを枕元に戻しておく。

5. 研修・訓練等

○4 月に BCP(事業継続計画・自然災害)の研修、5 月に BCP(事業継続計画・感染症)の研修、緊急時の対応に関する研修を行いました。BCP については、職員全体へ改めて内容の周知、手順等の確認を行いました。

○4/17 火災想定避難訓練を実施しました。終了後職員は水消火器での練習も行いました。新たな職員が多い出勤日だったので、のちの反省会では避難時の課題が複数出てきました。今回出た課題への対策を講じ、どの職員でも避難時に対応できるように改善したいと思います。

6.今後の行事・研修予定

○行事予定

6月：誕生会、お菓子作り

7月：誕生会、七夕

○研修等予定

- ・事故発生又は再発防止に関する研修
- ・非常災害時(水害)に関する研修
- ・BCP(自然災害)机上訓練

7.意見交換

○事故報告事例①の方の場合、センサーマットが鳴動しなかったようですがメーカーへの問い合わせなどは行いましたか？

→確認した際鳴動したため、問い合わせは行っていません。

○現在のご利用者の在籍者数は増えていますか？

→前回の会議開催時と比べると1名減っています。

・要介護5の方も多くケアが大変かと思いますが、職員数の配置状況を教えてください。

→日中はご利用者様：職員＝3：1の配置基準なので4名の職員が対応しています。夜間は、各ユニットに1名の職員で2名体制となっています。

→ハローワークに求人は出していますがなかなか応募者がおらず、職員の繋がり等でも探しています。

・避難訓練時新しい職員が多かったとありますが、職員数は増えているということですか？

→新規で入社した職員もいますが、退職した職員もいるため増えてはいない状況です。

・現在は何名職員が足りないですか？

→常勤換算とした場合の職員数は在籍していますが、余裕のある人数ではありません。

○食事に関して、週に数回手作りを物を用意されているとのことですが、その頻度は変わっていませんか？増えていますか？

→手作りの頻度は変わらず木曜と日曜のみです。

・増やすことは難しいですか？

→現在の職員数では難しいです。以前は調理の職員がいましたが、現在調理の職員は短時間勤務のパート職員のみであるため、毎日の手作りは困難な状況となっています。

・現在お弁当中心の食事となっているかと思いますが、食事に関して将来のビジョンはありますか？

→手作りの食事を毎日提供したいですが、現在の職員不足の中では難しいです。

・手作りの食事は変わらず社長が作られているのですか？

→はい。

・社長はどのくらいの頻度でグループホーム稗原の方へいらしていますか？

→現在はもう一方の事業所にいることが多いです。必要な内容は、3月に営業職として採用した職員や管理者から適時報告を受けています。営業職として採用した職員も、現場に入ることが多い状況となっています。

○事故報告事例②のご利用者は、救急車で出ましたか？

→いいえ、救急外来を受診しました。

・何日間入院されていましたか？

→16日間です。

・高齢になってくると感覚が鈍くなってくるので、痛みの感じられ方も遅くなったのかもしれないですね。

○BCPは完成しましたか？

→はい。今後、研修や訓練を重ねてより具体的に実用性の高いものとしていきます。

○入浴は全員介助をされていますか？

→ほとんどの方はその方の状態に応じて介助を行っていますが、1名の方は介助を拒まれるのでお一人で入浴されています。但し、入浴時の事故も多いので少し隙間を開けさせていただき、ご本人様に見つからないように見守りを行っています。

・入浴の頻度はどうなっていますか？

→皆様が週2回入浴できるようにローテーションを組んでいます。

以上